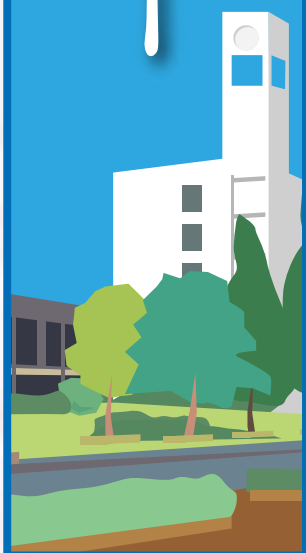




みゆきレター



ストレスに挫けない バイタリティーを



晴れの卒業式を挙行するに当たり、ご来賓並びに保証人の皆さまには、多数、ご参加下さいましてありがとうございます。卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。また、大学院を修了される皆さん、専攻科を修了される皆さん、ご修了、おめでとうございます。教職員、在校生を代表しまして、心からお祝い申し上げます。保証人におかれましては、経済が不安定な最中での在学であり、ご苦労が多かったものと拝察しますが、ご卒業を迎えられて、安堵の胸を降ろされていらっしゃることでしょう。

皆さんは、在学中、学習に、サークル活動、ボランティア活動等に精一杯励まれました。その結果、多くの人が国家試験や専門分野の資格を取得されました。また、就職内定率もほぼ100%に達する成績を収めました。サークル活動においては、中国地区や広島県の学生選手権大会で、男子バレー部や、軟式野球部、ソフトテニス部等、多くの部が、度々優勝され、全国大会の出場権も得られました。このような目覚ましい成果の背景には、並々ならぬ努力の結集があった訳であり、身に付けられた体力と精神力は、将来、必ず、役に立つものと確信いたします。

さて、世の中は、現在、経済が不安定な

真つ只中にあり、大企業でさえ、事業を縮小したり、従業員を解雇したりして、乗りに汲々しております。まして、中・小企業となりますと、倒産したり、休業する会社が続出しております。諸君は、尋常な常識では立ち向えない、最善の努力をして当たり前、過酷な労働条件が強いられる職場で仕事をする事になります。

このような会社で仕事をする上で、心得ておきたいことは、先ず、与えられた仕事に自分が課せられた使命であると覚悟を決めることが大切です。学生時代は、自分主体の考え方で自由奔放に過ごしてきたと思いますが、入社したら、会社の方針に従って、決められた通りに職務を遂行しなければなりませんし、ときには、上司の指示には気持ちが進まなくても従うことが求められるでしょうし、与えられた仕事は否応なしに、しなければならぬ場合があるということです。

次に、どんなに努力しても、仕事が上手くいかない場合の対処の仕方についてです。このような場合は、自信を喪失することなく、困難に立ち向かっていくという心根が大切であり、不屈の精神を持って与えられた仕事に挑戦する気構えを持って欲しいものです。しかし、仕事には、失敗や

行き詰まりは付きものですので、一段と成長するための試練の場だと捉えて、すべてのことをプラス思考で考えて、気持ちを大きく持つて、楽天的に乗り越えて欲しいです。たまには、仕事を忘れて、趣味に没頭したり、学友と落ち合つて、旧交を温め合うのも、気分が一新する効果的な方法でしょう。

もう一つ申し上げたいことは、会社では、多くの社員が一緒に働いており、上司もおれば、同僚もいるのですから、お互いに支え合つて、和気あいあいと過ごす努力をして下さい。特に会社が苦しいときにはお互いに励まし合い、ユーモアを忘れずに明るく接したいものです。

最後に、何といつても、頑健な身体です。仕事に打ち込むためには、健康な身体が資本です。健康だからと過信しないで、常時、身体を鍛える努力が大切です。終わりに当たり、皆さんが福山平成大学卒業生であることに誇りを持って、社会のリーダーとして活躍されますよう、祈念しまして、式辞といたします。

平成二十八年三月二十二日

福山平成大学

学長 田口 則良



平凡なことを忠実に

本日の記念すべき佳き日に平成27年度卒業生のための式典が盛大に挙行されることになり、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん本当におめでとうございます。また、本日は多くのお父さん、お母さん等保証人の皆様にもこの目出たい卒業式典にご列席をいただき、ありがとうございました。御礼申し上げます。保証人の皆様が大切に大切にお育ていただいたお子様が成人式を迎え、こんなに立派な社会人としての姿で大学を卒業することになり、喜びも一入のことと改めて心よりお祝い申し上げます。

学校法人福山大学の二つの大学は、「建学の精神」である「全人教育」即ち、「人間の発達可能性を全体として調和的に実現していくことを目指す教育」にしたがい、一人ひとりの学生を大切に育てることを大学の基本理念とし、すべての学生に対する学修指導、生活指導、就職指導に心血を注ぎ、面倒見のよい大学、興味を持って学業に励むことができる大学として努力しているとともに「地域、社会で働く中核的人材の育成」をミッションとし、地域、社会に貢献する有為な人材の育成を教育の重要な目標に掲げ、全校で努力してまいりました。

ご承知のように経団連、日経連、商工会議所などの経済団体は、企業等で働く人材として責任感、協調性、判断力、創造性、リーダーとしての資質、バイタリティ、社会貢献への意欲などを強く求めています。さらに、これからのグローバル化

への対応としての立場からは、外国語ができ、外国人とのコミュニケーションが取れる能力のある人材を強く求めていますので、これからのグローバル化や社会の変化に対応するため、卒業後も、この点を頭に入れ、まさに生涯学習の視点から外国語の学習などにも励み、会話能力即ちコミュニケーション能力を二層高めるよう努力してほしいものと考えております。

さて、わが国の高等教育は、国立大学86校、公立大学89校、私立大学604校の779校が担っております。このうち私立大学604校は大学全体の77.5%、学生数は全大学生286万人のうち210万人となっており、高等教育に進む学生の74%が私学に通っており、まさにその責任は誠に大きなものがあり、これを果たすため全教職員は日夜努力しているところであります。

現在18歳人口は、わが国の人口減を反映して、平成4年の205万人をピークに平成27年には120万人となっており、今後は100万人前後を推移するといった大変厳しい状況にあります。

学校法人福山大学としては、このような現状を踏まえ、これに対処するため、長期ビジョン運営委員会を組織し、①学部・学科の再編 ②施設・設備の改善充実 ③入試・広報対策の強化 ④就職対策の充実 ⑤地域・社会との連携の強化 ⑥国際交流の推進などにつき研究し、その提言を受け将来に備える施策を着々と実現してきております。

幸い学校法人福山大学の二つの大学、福山大学並びに福山平成大学は、困難な状況の中志願者も前年度より増加するなど、明るい展望が開けつつあります。就職についても就職を希望するもののほぼ100%が就職をすることになり、全国平均を遙かに上回る高い就職率となっております。両大学としては入学したものは必ず就職、進学させるといった基本方針にしたがい教職員の大変な熱意と卒業生の並々ならぬ努力により、このような実績になったものと考えております。

さて、最後に阪急電鉄の創業者であり、経済人としても大活躍された小林三氏は「成功の道は信用を得ることである。どんなに才能や手腕があっても、平凡なことを忠実に実行できないような若者は、将来の見込みはない」といつておりますが、「平凡なことを忠実に実行できる」とがいかにか大切かを強調しておりますので、これを警句として大いに頑張っていたきたいと思います。

卒業生の皆さん、大学で培ってきた学力や資格を存分に発揮し、国家・社会・地域・企業の有為な人材として活躍されまうすよう心より祈念し、卒業のお祝いの言葉といたします。

平成二十八年三月二十二日

学校法人 福山平成大学

理事長 清水 厚實

門出を祝して卒業生に送る言葉

信念をもって一歩一歩前進

経営学部長 坪井 始



卒業おめでとございます。卒業生のみなさんが入学してから四年間、大きく成長されたことと思います。

2月には経営学科の卒業論文の発表会があり、卒業生の皆さんの発表を見させていただきました。資料を集め、指導教員や他のゼミ生と意見を交わしながら、1年かけてまとめた論文の発表には迫力があり、皆さんの4年間の成長の記録を見ているようで頼もしく感じました。答えのない問題へのチャレンジ、社会に出てからたくさん遭遇しそうな問題へのアプローチの仕方の一つを身につけられたと思います。

2014年12月に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ2」が、昨年の12月3日に地球スイングバイによって、小惑星「リュウグウ」への軌道にのりました。小惑星のサンプルを採取して、2020年に地球に帰還する予定です。また、同じく12月7日には金星探査機「あかつき」が金星周回軌道に投入され、5年前の軌道制御用エンジンの故障による周回軌道投入の失敗を克服しました。これらの数年にわたるミッションは長いようですが、私たちの人生からみれば、そうではないかもしれません。また、私たちも人生の中で、様々な困難に立ち向かい、ときには忍耐の時期を過ごすこともあります。

今まさに、みなさんは社会人としての一歩を踏み出そうとしています。それは、家族や大学から守られた学生という立場から、自ら道を切り開いて社会の一員として生きていくための第一歩です。また、これは人生の中で大きな節目のときでもあります。就職するということは、社会の一員となることです。いままで置かれていた環境が大きく変わり、それに対応する必要があります。これは、自分自身を見つめ直すよい機会です。学生時代に築いてきたことを生かし、自分を再認識して、自信をもって新しい一歩を踏み出していきたいと思います。

そして、みなさんの歩く道は、平坦な道だけではないと思います。険しい坂道があり、大きな壁が立ちちはだかるかもしれません。大学で学んだことを基礎にして、常に新しい知識を吸収し、的確な判断力をもって、そのときの課題に対応できるように精進していただきたいと思います。そして、目標に向かって一歩一歩、ときには半歩しか進めなくても自分自身のやり方で自信をもって前進してください。

みなさんの新しい人生の門出に、幸多いことをお祈りいたします。

卒業生に贈る言葉

福祉健康学部長 永井 純子



皆さん、御卒業おめでとございます。福山平成大学での学生生活はいかがでしたか。新入生オリエンテーションキャンプに始まり、学長杯、御幸祭、それ以外に学科毎にもいろいろな行事がありましたね。学生食堂や図書館、体育館、

コンピュータ室でも随分お世話になったのではないのでしょうか。授業はどうでしたか。積極的に取り組むことができたか。卒業論文や修士論文の作成ではこれまでにない苦しみを経験したのではないかと思います。しかし、その苦しみこそが自分を成長させると考えます。先の見えない不安と苦しみに耐えながら、根気強く頑張つて論文を仕上げたあなたはとても素晴らしい。本当に良く頑張りましたね。成功を勝ち取るためには努力が欠かせないことを実感できたのではないのでしょうか。努力することで成功を経験し、成功することで自分に自信を持つことができる人につながってくればと願っています。しかし、人生はそううまくはいかないこともあると思います。トーマス・ヘンリー・ハックスレーは「若いうちに失敗することは実は非常に有益なことである。肝心なのはそれで潰れないことである。」と語っています。いろいろな人に助けてもらいながらで結構です。教室を離れても学ぶことを続けて下さい。そして方向感覚を失わず、学ぶ意志や欲求を持ち続けて下さい。いつかきっと成功する日が来ると信じています。

ところで、ある僧侶の講和によると世の中には3つの「善」があるそうです。第一は「法律上の善」で、法律や規則、しきたりや社会規範などに従って行動すれば善。第二は「道徳的善」で、はつきりしたルールや答えのない場面でもどのようにふるまうべきか、正しい価値判断を行い、その判断に従って行動すれば善。第三は「宗教的善」で私心を捨て、他者の幸せを求めていく慈悲の心で行動すれば善です。(児島邦弘「三つの善」より)

つまりこれから社会に出ていく皆さんが成功するためには、第一に時間やルール等、規則を守ること。どうすれば良いか判断に困ったときは一人で判断せず、信頼できる人に相談して正しい価値判断をすること。自分のことだけでなく、他者の気持ちを理解できるように行動すること。この3つの「善」を心がけて行動すればきっと道は開かれると思います。

最後に、「生懸命頑張ると息苦しくなる時期があります。そんな時はいつでも大学に来て下さい。私たち教員一同はいっまでも皆さんの幸せを心から祈っています。

新たな目標に向かってスタート

看護学部長 森田 なつ子



ご卒業おめでとございます。晴れの門出を迎えられた看護学部看護学科6期生の皆さん、保証人の皆様から心からお祝い申し上げます。

さて、現在、より良い看護・医療の実現に向けて、少子超高齢社会に対する人材育成、地域包括ケアシステムの構築をはじめとする、看護職の役割拡大の推進などが図られています。

本看護学部は教育理念の基、皆さんは看護専門職に必要な学びを4年間修得してきました。初めの一歩は小さいかも知れませんが、社会で仕事をしていく中で、情熱と努力で培った知識と技術を活かし、臨床での教育を継続し、後々の仕事の質や量などキャリア教育につなげて行ってください。これから、職場や人生のさまざまなシーンで課題にぶつかったりすることもあるかも知れません。その時は、臨地実習などでもいつも励まし合ったり慰め合ったりした仲間がいること、思い出を共有できる大学という場がここに一つあることを思い出してほしいと思います。「これから」は、看護専門職として、皆さんが今、どこで、どのようなことを考えているのか、どのような看護実践をしているのか、是非、私たちに教えていただきたいし、後輩たちにもアドバイスをしてください。看護専門職としての自信と誇りを持って新たな目標に向かい、人と出会いなど歳を重ねていける皆さんの近況を聞かせていただければ幸いです。同じ看護専門職の仲間としてこれからの看護を語り合い、看護の質の向上に協働して行きたいと思っています。地域における医療、保健そして福祉向上のために自分の力を信じ、希望した職場で新たな出会いの中、未来の可能性に向け、活躍されることを願っております。

また、助産学専攻科並びに大学院看護学研究科修了生の皆様、ご卒業おめでとうございます。助産師として、看護専門職のリーダーとして大いに活躍され、看護専門職の発展に寄与されることを期待すると共にご多幸をお祈りいたします。

大学生活を振り返って 四年間のメッセージ

大学生活を振り返って

経営学科 箱崎 優里



大学生となり、新しい環境になることへの期待や不安でいっぱいだった入学式から、あつという間に月日が流れ、卒業の日を迎えようとしています。今、福山平成大学

で過ごした4年間を振り返ってみると、部活動や勉強、学校の行事、アルバイトなどとても充実した4年間だったなと思います。この4年間で多くの人と出会い、高校生までとは違う責任感や、自立しようとするところ、学ぶことがたくさんありました。

部活動では、小学1年生から続けているソフトテニスをし、心残りもありますが何とか成績も残すことができ、学長賞を頂く事が出来ました。ソフトテニスをしてきて、苦しいこと、悲しいこと、悔しいこと、いろんな気持ちを教えてもらいました。そして、どんなときも仲間や友だちがいてくれて、わたしのかけがえのない人たちです。

私が、福山市職員になるうと決めて本格的に勉強を始めたのは、大学3年生の2月でした。決して早いスタートとは言えません。しかし、少ない時間しかない自分と言いつつも、自分を追い込むことが出来ました。目標を本気で達成するために必要なことは、「やってきた自分を信じること」だと思います。また、TAを経験して人に教えることの難しさを学びました。このことを社会人になっても生かしていきたいと思っています。

長いようで短かった4年間は私にとってとても大切な時間でした。大学生になって改めて感じたことは「継続は力なり」です。継続することの大変さ、難しさを感じました。

これまで支えてきてくれた多くの方から感謝致します。そして、まだまだ未熟者の私ですが、これからも応援してもらえたら嬉しいです。有難う御座いました。

学生生活の思い出

福祉学科 橘高 由和



私はこの大学4年間を過ごして多くのことを学びました。

勉学では社会福祉士国家資格取得

を目標にさまざまな社会福祉分野の勉強に励みました。実習では実際に高齢者施設へ行き、利用者が抱えるニーズを把握し、利用者が持つ特性などを考慮しよりよい関わりについて考えるという貴重な体験をすることができました。

勉学以外ではボランティアサークル、シグマソサエティでの活動が一番印象に残っています。地域の催し物などにおけるボランティア活動を通じて地域の方々との交流を図り、地域と大学との繋がりを深めることに力を注ぎました。中でも力を入れたのがバルーンアートでした。子どもたちを中心に色々な方々にバルーンをプレゼントするなどのボランティア活動を続けていく中で、最初は苦手だったコミュニケーションも今では得意となりました。

ボランティア活動で培ったコミュニケーション力を生かし、地域の大きなイベントの司会を務めたり、他大学と連携し、河川敷や市内で清掃活動を行うなど自ら活動の幅を広げていったことも良い経験だったと思います。また活動の中で出会った人や、地域との繋がりは私にとって大きな財産となっています。

これからもこの繋がりを大切にし、この大学生活で学んだこと、成長できたこと、経験したことを生かし社会に貢献できるよう全力で頑張っていきたいと思っています。

大学生活を振り返って

健康スポーツ学科 栗原 弘大



4年前に大学に入学し、あつという間に卒業を迎えました。高校の時に体育教師かトレーナーかで悩んでいた私は、両方ともにチャレンジができる福山平成大学の健康ス

ポーツ学科に進学しました。

大学4年間で自分が頑張ったと言えることは、目標としているトレーナーになるため、大学で学んだことを実践できるアルバイトをしたことです。大学1、2年生ではサッカーの指導者をしました。主な担当が中学生であった為、選手をどうやってやる気にさせるか・どうやって注意するか・どのようにサポートするか等コミュニケーションの面で勉強になりました。

そして、私に大きな影響を与えてくれたものが、大学3、4年生の時に行った病院内のフィットネスジムでのアルバイトです。1、2年生で専門分野の基礎や応用を学び、それを現場で活かすという環境はトレーニングの方法は勿論ですが、運動生理学や身体機能解剖学などの面でも大変勉強になりました。フィットネスジムでの経験が、広い視野で物事を考えさせてくれるようになり、物事をもっと深く考えるようにさせてくれました。

私はこれからトレーナーとして仕事をして行きます。大学で学んだことをアルバイトを通して実践し、トレーナーとして相手が何を求めているのか、求めるものに対してどのように対応するべきなのかということを学べたことは私にとって大きな財産となりました。

長いようで短かった4年間の大学生活は、私にとってかけがえのない時間となりました。私の大学生活が充実する事ができたのは、先生や友達、出会った全ての方のおかげです。これまでに経験した事を活かして、トレーナーとして運動が嫌いな人に運動を好きになってもらえるような運動指導が出来るように頑張ります。

4年間をふりかえって

こども学科 反田 枝里



4年間のすべての思い出を、ここでは書ききれないので、4年間で私が悩み乗り越えていった2つのことを書きます。

1つ目は、小学校教諭免許状取得のための授業課程です。大学2年生のころから初等教育の授業はぐんと増え、模擬授業やその準備などもあり、とても忙しくなりました。大学3年生での小学校教育実習の前には実習を無事に終える想像が全くできず、不安で友達と泣いたことも、実習を辞退しようと考えたこともありました。それでも、小学校教諭の素晴らしいさややりがい学べたことや、ともに学んだ仲間との一体感は忘れられないものです。

2つ目は、公立の保育士採用試験に挑戦したことです。大学4年生の4月から、人生で一番勉強し、ピアノの練習をしました。友達が内定をもらっていく中、勉強やピアノの練習に明け暮れることはとても辛かったですし、完璧に練習して臨んだピアノの試験にも失敗してしまい、自信をなくして採用試験に挑戦することを辞めようと思うことは何度もありました。それでも、友達や先生や家族に支えられ、公立の保育士として内定をいただくことができ、今は挑戦して良かったと思っています。

確かに、苦しいことばかりで、決して楽とは言えない4年間でした。それでも、苦しくてもやって良かったと思えることしかなく、「苦しかった過去」以上に「笑って迎えられる今」があるので、大学4年間に後悔はありません。また、卒業を目前にした今、周りの人に支えられて過ごしていたことを強く実感しています。そんな当たり前のことに気が付くことができる自分にもやっと出会えました。だから、卒業を前に言えることは、福山平成大学に入学して本当に良かった、という一言だけです。

看護学科で学んで

看護学科 丹下 絵美子



私はこの4年間で、多くの人と出会いたくさんのことを学んで、大きく成長することができたと思っています。4年間の思い出はたくさんありますが、3年生のときの臨地実習や4年生での国家試験に向けての勉強が特に印象に残っています。

3年生の実習は期間が1番長く、いろんな領域を約半年間で回ります。技術も求められますし、日々の記録にも追われ、とても大変でした。しかし、実習で担当の患者さんから「ありがとう」とお礼の言葉を頂いたときは、泣きそうなくらい嬉しく思いました。患者さんがよくなられるようにと考えながら行った援助を喜んで頂いたときは、やりがいを感じることができ、看護の道を選んでよかったと感じました。また、長い期間の実習を共に乗り越えた友達は、楽しい時も辛い時もいつも寄り添ってくれて、心の支えとなってくれました。

4年生になってからの1年間、特に後半は国家試験にむけてひたすら机に向かっていました。1年間という長い期間を乗り越えることができたのは、一緒に頑張る仲間、支えてくださった周りの人のおかげだと思っています。

思い返してみれば、4年前の入学当時は看護の知識などほとんどなく右も左も分からないような状態でしたが、4年間の積み重ねの結果、あと一歩で看護師というところまで来ています。恵まれた環境の中、4年間学ばせていただき、支えてくださった周りの人には本当に感謝しています。今まで出会った人からもらったものを、社会に出て「看護」という形で返していきたいと思います。





平成27年度 卒業者数

学 部	学 科	卒業者数
経 営 学 部	経 営 学 科	30名
福 祉 健 康 学 部	福 祉 学 科	24名
	こ ど も 学 科	45名
	健 康 ス ポ ー ツ 科 学 科	87名
看 護 学 部	看 護 学 科	89名
計		275名

研 究 科	専 攻	修了者数
経 営 学 研 究 科	経 営 情 報 学 専 攻	1名
ス ポ ー ツ 健 康 科 学 研 究 科	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 専 攻	1名
看 護 学 研 究 科	看 護 学 専 攻	4名
計		6名

専 攻 科	修了者数
助 産 学 専 攻 科	10名

合 計	291名
-----	------



御幸五訓

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育くむ。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

平成27年度 学生表彰者一覧

このたび、「学生表彰」として学長賞が第19回学位記授与式において次の学生に、田口学長から表彰状と副賞が手渡されました。

学長賞は「学業部門」において、特に優秀な成績を修めた学生に授与されるもので、今年度は、5名が表彰されました。

学 長 賞

経営学科 村上 遥

福祉学科 高橋 恵

こども学科 梅澤 真衣

健康スポーツ科学科 高見 健太郎

看護学科 山本 真衣

編 集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発 行 福山平成大学

発行日 2016年3月22日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>